



# 破綻者

## 基本宣言

キャラクターメイキング時、以下の基本宣言×4個を書き写しましょう。

**現場再構築**

(起動) 一

「現場再構築によって包丁を召喚！」  
包丁の所持者になった者を証言せよ！

オブジェクト1つを対象に、対象を召喚し、質問1つに回答させる。対象は自身の認識で証言し、実真として登録する。  
証言では嘘はつかないが、対象の知性では理解できない情報は証言できない。

LV2: 人並み知性付与 LV3: 視覚情景を見られる

**人物再構築**

(起動) ? : 15

「人物再構築によって富井を召喚。事件発生時、自分がどこにいたか証言せよ！」

キャスト1名を対象に、対象を召喚して、質問1つに回答させる。対象は自身の認識で証言し、実真として登録する。  
証言では嘘はつかないが、知らない情報は証言できず、誤認の情報もそのまま語る。

LV2: 誤認部分が判明 LV3: 過去記憶を見られる

**審問宣告**

(起動) 一

「審問宣告を宣言しましょう！隠された知り、私の問い合わせに応じなさい！」

あなたを対象に、YES/NOで回答できる質問をし、GMは回答がYESならYESと回答し、実真として登録する。  
回答がNOの場合や、そもそもシナリオ内に回答がなければ“不明”とGMは告げる。

LV2: No の回答も得られる LV3: 二択提示も可

**物質再変成**

(起動) 赤: 10

「物質再変成、扉の鍵はオートロックに変更され、扉が閉まるとき自動的に施錠する！」

オブジェクト1つを対象に、対象サイズが手のひらサイズなら、別のものに変更する、という幻想として登録する。  
どんな形状と機能を持つかは自由に決める。

LV2: 人サイズまで可 LV3: 家1軒サイズまで可

**誓約再設定**

(起動) 赤: 5

「誓約条項をあたえる！9時から11時の間、栗田は現場に入ることを禁ず！」

キャスト1名を対象に、対象の心を洗脳し、指定した1つ、対象が“絶対にしない禁則”を定めて、幻想として登録する。  
対象が禁則の行動をしないことが保証される。  
対象が直接死するルールは設定できない。

LV2: 永続も可 LV3: “すべき義務”的設定も可

**脚本検索**

(起動) 赤: 10

「脚本検索をおこなう！谷口および密室に関する情報を検索！」

単語最大2つを対象に、GMは対象すべてを含んだ未発見の脚本を検索し、該当した数が1件なら幻想として登録する。  
該当が1件でない場合、該当件数だけわかる。

LV2: OR 検索が可 LV3: NOT 検索が可

上限HP

7

復元  
4

初期魔力

黒  
0

初期魔力

赤  
3

## 上級宣言

キャラクターメイキング時、以下の上級宣言×1個を選んで、書き写しましょう。

**幻想エンチャント** EASY

(起動) 赤: 5

「幻想エンチャントを起動。岡星には検死の技術がある！」

▶キャスト1名を対象に、指定した専門技術や知識や身体能力1つを、対象が修得している幻想として登録する。  
▶対象はこの効果で修得した技術を使用する時、決して失敗しない。

LV3: 超科学技術、超能力も付与可

**キャスト抹殺**

(起動) 赤: 7

「キャスト抹殺！山岡は12時15分、すでに死亡している！」

▶キャスト1名を対象に、あなたの指定する時刻の指定場所で、対象が死亡して死体となっている幻想として登録する。  
▶この死に関して殺害時刻や殺害された場所、殺害方法や死因は指定できない。

LV3: 死亡ではなく行方不明にすることも可

**惑乱プロトコル**

(起動) 赤: 9

「惑乱プロトコルを宣言じゃ。中松はパーティーのことを何も記憶しない」

▶キャスト1名を対象に、あなたが指定した事柄を、対象の記憶が曖昧で“覚えてない”幻想として登録する。  
▶対象からはそうした証言も得られなくなる。

LV3: あなたの望む記憶を補え付けることも可

**パラレル不在証明**

(起動) 赤: 5

「パラレル不在証明を起動。大原が犯行時、現場にいないことを保証！」

▶キャスト1名を対象に、あなたが指定する時刻から1時間、指定した場所に、対象が“いない”幻想として登録する。  
▶時間幅や部屋より広い場所は指定できない。  
▶不在中の対象の所在や行動も指定できない。

LV3: プロジェクト中に何度でも使用可能になる

## 権限魔法・魔法体系

キャラクターメイキング時、以下の権限魔法×4個と魔法体系3個を書き写しましょう。

**【破綻権限】**

(起動) ? : 1~ (魔力) -/-

破綻者としての基本権限で攻撃する

告 発	援 護
-----	-----

▶参戦1名を対象に、代償として(HP)をX点払い、対象にXダメージ。  
▶Xはプレイした枚ごとに+1。

**【增幅権限】**

(起動) 赤: 7 (魔力) 1 / 4

自身の生命を戦闘用の魔力を変換する

告 発	援 護
-----	-----

▶継続：あなたを対象に、代償として(HP)を好きなだけ払い、対象の告発攻撃に威力+Xする。  
▶Xは代償に払った(HP)：3点ごとに+2  
▶この局面の終了時、この魔法は解除される。

**【苦痛権限】**

(起動) 赤: 8 (魔力) 2 / 6

敵の苦痛を自らの生命力として吸収する

告 発	援 護
-----	-----

▶敵対者1名を対象に、対象に2ダメージ。  
▶あなたの(HP)+2点回復。

**【災厄権限】**

(起動) 赤: 15 (魔力) 4 / 10

自身の持つ間の魔力を、いっさに叩きつける

告 発	援 護
-----	-----

▶継続：あなたを対象に、対象の告発攻撃では、「威力」と「回数」は2つを比べて両方を高いほうの値に統一したものとして、攻撃ダメージを計算する。

体系：黒杖一章

体系：黒剣一章

体系：黒剣三章